



第38回人間科学セミナー

開いた未来のジレンマ

日時:2019年 11月21日(木)
15:00~16:30

場所:大阪大学人間科学研究科
北館2F ラーニングコモンズ

講演者: 森田邦久 准教授

本講演では、未来が開いていることを認めるならば、(1)物理学が閉じていないか、(2)物理学の法則が時間によって変化するか、のどちらかを受け容れなければならない、というジレンマを論証します。ここで「未来が開いている」とは、未来の状態が現時点では決定していないという意味です。これは、単に予測できないということとは違います。また、「物理学が閉じていない」とは、非物理的な過程(たとえば心的な過程)が存在して、しかもそれが物理過程に因果的影響を与えるということです(しかしそれを受け容れることは様々な困難が伴うので、通常は受け容れ難い主張です)。この論証は、哲学の予備知識も科学の予備知識もなくとも理解できますが、論証に入る前に、議論の背景を知っていただくために、簡単に時間論のお話もしたいと思います。

